

2010年
3・4月号

TOKYOタイムズ

トキオ

NO. 95
岩本工業 (株)

ホームページ <http://www.iwmt-kg.co.jp/>

Eメール: iwamoto@iwmt-kg.co.jp

創業62周年に向けて 新たなる夢と目標を！

H22年2月吉日 岩本 博之

60年を一区切りとして、新たな一年目はリーマンショックの煽りを受けて売上げは7割減の厳しい状況に直面しました。積極的に設備の充実を計り人材育成ではスペシャリストが育ちつつある過程で仕事量が激減し3勤4休を余儀なくされる中、週2回の勉強会を1年間継続された事に関しては社員の皆様に敬意を表します。

今年に入って仕事量は半分に戻りましたが予断は許されず、今後2年で従来品は8割の復活だとすれば、設備増強も含めた足りない4割は新規分野からの受注確保に励まなければなりません。それらを可能にする為にも足元を見ながら、会社目標や個人目標を描く事でより具現化に近づけると思います。11日の創業記念日に私の個人・会社目標を開示しましたが多めに参考にして頂くと共に触発しあいましょう！

書いて宣言すれば潜在意識が実行に向けて一步を踏み出すのではないのでしょうか。(部 社員には開示)

	～ 1年後 2011年	～ 5年後 2015年	～ 10年後 2020年	～ 15年後 2025年 (若い皆さんには30年後)
個人目標	体重は63～65kg 維持！ (腕立て30回&30分のストレッチ) ↑ 腰痛・失禁・肩凝りが治ります！ コマツ山田(印度)山内(中国)氏 訪問 10月頃に英国へ一ヶ月の語学留学 (毎年5年継続)	風の活動 30年振りに小唄再会 2014年 ネパールトレッキング 1W を受け入れ 2015年 アフリカ旅行 2W	×××山に神に不適切表現で却下されました。 (=体力・気力共に充実していれば・・・) に出資(プロデューサー?) 70才からゴルフ再開目標スコア 88・・・ 2017～20年 IWMT 村を建設 2019年 併設	テーマパーク(社員5～6人との会食) 年間20回は必須(全社員対象) 空&海ダイビングに挑戦・・・ ・・・(夫婦で廻りたいですね) ?オ サラ・ブライトマンに・・・ (ピンピンコロリを切望!)
経営目標	ME X金沢 社員製作品の充実 新規受注売上げ比率を20% 中国進出検討開始 2011年3月期黒字化!	2011年 取得 2012年 中国工場 2014年新規売上げ比率を35% ★ 部門創設 2015年 自社製品発売 2016年3月期売上げ30億円	本社 に移転 ★ 部門創設 45才以下社員で1000万円プレーヤーの育成 2018年 自己資本比率45%に 73才会長就任(以前に適任者居れば禅譲)	75才、代表権のない相談役に。 積極投資するも自己資本比率30%は堅持! 自社製品売上げ比率を20% 夢工場は次世代に託す (願わくば2024年には完成を・・・)

当日1時間講演の内、15分余りを皆さんの尊敬する人物像や目標について話し合いました。私は両親・天皇家・土光敏夫(東芝)・永守重信(日本電産)・吉田茂・ガンジー・チャップリン etc。若い時代に見えたもの、熟年になって見えるもの。尊敬できる人が多くなればなるほど自分自身も豊かになれるような気がします。

3月

4月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31				28	29	30				

中国出張報告

常務取締役 西村

月日 H22年1月19日～20日
訪問先 現地加工企業4社
内容 中国発注企業の品質・納期管理面の現地調査をP社担当者とする為同行説明する。現地加工企業で搬送装置生産を行っており、その取組がP社様の周辺装置に活用できないか提案を行う。

※現地加工企業

訪問の代表企業取組みをパワーポイント・工場見学・ショールームにて内容説明を受ける。

その内の1社は今年で創業10周年、年商30億円、従業員180名、取引企業は100%日系企業。加工は外注にて組立、出荷検査、梱包は社内で行う。生産管理はパソコンで一目に進行状況が分かる様になっており(一部バーコードにて対応)、モニター設置進捗具合を色分けし社員に表現されていた。今後は発注企業からもインターネット上で進捗表現したいと話される。

P社担当者が搬送装置に興味を持ち、現在外部購入している搬送装置を中国で設計込み対応が可能か、持ち帰り検討される事になる。

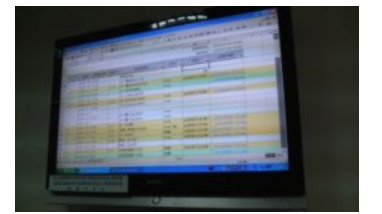
約1年ぶりの中国訪問となったが、上海地区は5月からの万博を控えている事もあり、郊外の高速度道路・地下鉄等急ピッチで工事が進められ街の雰囲気も変わっていた。又中国企業の改善スピード、不景気からの立ち上がりを目の当たりにし、日本とのギャップの大きさに不安感すら感じられた。今回の出張で弊社は更に技術レベルを上げ中国進歩に負けない取組み(Q・C・D)を行わなくてはならないと再認識する。



加工企業工場内



ショールーム



生産進捗ディスプレイ

研修会に参加して

第3係 有馬

2月11日 白山市民交流センターにおいて研修が行われました。今回は、午前中に税理士法人中山会計 小嶋様の「2010年デフレ到来!!!」午後に職業能力開発協会 瀬端様の「技能継承と人材育成」。最後に社長が「創業61周年を迎えて新たなる目標」と、1日をかけ3つの研修機会を得ました。

小嶋様のお話の中で医療費控除の対象や控除可能額、扶養家族、住宅控除の条件等は直接生活に関係する内容であり大変参考になりました。午後の研修では個人能力開発から個人の総合力が企業の力であり自己の欠点を知ること、仕事は問題意識を持って計画的に日頃から観察力・分析力・改善力を向上させることが大切であると感じました。また、岩本工業のヒヤリ ハット集計では今までのデータに基づいて危険を感じた体験と改善提案等で、特に自己事例は社員一人一人の安全意識に対する意識、処置(危険と思ったらとりあえずの処置と報告)が重要であると認識しました。

最後の社長訓示では、会社の利益追求だけでは心豊かになれず地域、社会の人達からより多くの「有難う」をいただける会社とするために私達も目標を書いて宣言させて頂きました。

1日の研修でしたが多くの事を得た1日となりました。